

「軽井沢72ゴルフ」

ABINCゴルフ場版認証取得

西武造園株式会社 事業開発部 江川将博



日本最大級のリゾートゴルフ場

この度、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイドにおいて、生物多様性に配慮する施設を認証するABINC認証（ゴルフ場版）を二〇二四年三月五日（火）に取得した。

「いきもの共生事業所[®]（通称・ABINC・エイビンク）認証制度」とは

「ABINC・エイビンク認証制度」とは、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する認証制度で、この認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ（JBIIB）が開発した「いきもの共生事業所[®]推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証である。

二〇二二年のG7サミットでは、二〇三〇年までに生物多様性の損失

を止め、回復軌道にのせる「ネイチャーポジティブ」や、生物多様性の観点から二〇三〇年までに陸と海の三〇%以上を保全する「30 by 30目標」に取り組みことに合意したことを受け、国内でもOECM（Other effective area-based Conservation Measures）に関するさまざまな

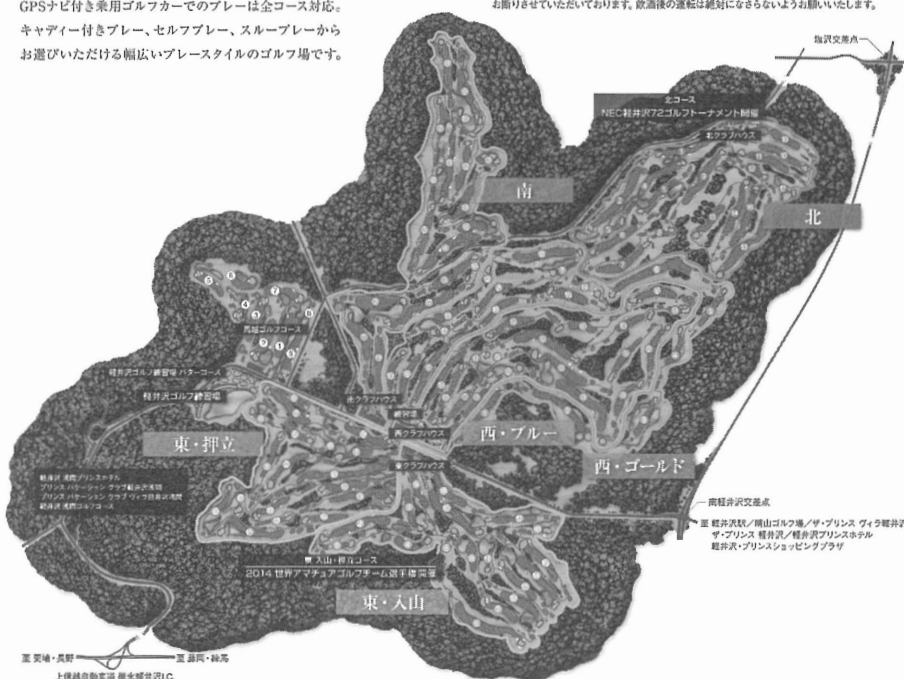
INCの理念でもある「自然と共生する世界」を実現するための企業活動への期待が高まっている。ちなみに一般社団法人いきもの共生事業推進協議会とは、生物多様性条約第一〇回締約国会議（COP10）において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、二〇五〇年までの長

すべてのゴルファーが楽しめる
360°パノラマ・ゴルフリゾート
軽井沢72ゴルフ

軽井沢の美しいロケーションの中、東・西・南・北の4つのゴルフ場からなる6コース、108ホールのビッグスケール。GPSナビ付き乗用ゴルフカーでのプレーは全コース対応。キャディー付きプレー、セルフプレー、スループレーからお選びいただける幅広いプレイスタイルのゴルフ場です。

コース	北	東・入山	東・押立	西・ゴールド	西・ブルー	南
キャディー付きセルフ	○	○	○	○	○	○
乗用ゴルフカーGPSナビ付き	○	○	○	○	○	○
乗り入れ（有料）スループレー	○	○	○	○	○	○
レストラン	○	○	○	○	○	○

※天候・コース状況によりゴルフカーのフェアウェイ乗り入れができない場合がございます。
※メタルスパイクシューズ（スパイクレスを含む）でのプレーを禁止させていただいております。
※メタルスパイクシューズ（スパイクレスを含む）をご利用ください。
※アルコール類を飲まれた方のお車（乗用ゴルフカーを含む）などの運転は、お断りさせていただいております。飲酒後の運転は絶対にしないようお願いいたします。



軽井沢72ゴルフ全コース図

期目標「自然と共生する世界」の実現と、二〇二〇年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をもに作る団体と協働して、いきものと人が共生できる仕組みを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的に設立されたものである（引用元・ABINCニュースリリースより）。

軽井沢72ゴルフの取り組み

一九五六年（昭和三十一年）九ホールが開業し、一九七一年（昭和四十六年）あわせて七十二ホールが軽井沢72ゴルフとしてオープンした。軽井沢72ゴルフでは、敷地内の動植物調査をはじめ、環境調査を実施し、現状把握と課題を抽出した上で、維持管理計画を策定し、モニタリングを通し改善を行い、持続可能な環境保全を目指している。その中で、化学肥料の量を抑え、有機肥料に変換していく試み

も行っており、環境汚染の防止等を目的とし、施肥計画見直しや代替品（ばかし肥料等の有機肥料）への転換等により使用量を減らし、いく方針で維持管理を行っている。

さらに、サッチ分解等の生菌水和剤を使用することで、土壌環境を整え保水・保肥力等を改善し、ひいては少量の施肥・施薬でも肥料効果が上げられるよう努めている。また、希少種保全のための刈り込み、計画的な樹木の剪定・伐採など、生物多様性に配慮したさまざまな取り組みが評価され、この度ゴルフ業界でのさきがけとして、認証を取得することができた。

生物多様性に貢献する面積

ABINC

での生物多様性貢献面積の考えは、全敷地面積から



「ティグランド」「グリーン」「フェアウェイ」「カートコース」「クラブハウス」「駐車場」の面積を差し引く形で算出し、「ラフ」「樹林帯」「池」などは生物多様性へ

の貢献面積と考える。

地域生態系における当該ゴルフ場の意義

「ゴルフ場としての「戦略性」と「美しい景観」をあわせもった、生物多様性に配慮したゴルフコース」を目指し、『年間管理計画表』を基に、コース管理における生物多様性保全に貢献する維持管理作業を計画。実作業においては、生物多様性保全に資する作業も通常のゴルフ場の緑地管理業務と同時に行えるような内容に工夫している。

また、敷地内の環境調査実施や課題抽出、その結果に基づく維持管理計画の策定、モニタリングの実施などの活動を通して、改善策を実施し、こうした活動により絶滅危惧ⅠA類指定／長野県希少動植物条例指定の「ヤマタバコ」の生息場所が確認され、指標種を含む多様な生物たちの保全と育てていく管理も行うこととしている。

多様な動植物たちが命を育む環境を理解し、未来を見据えた取り組みを行うとともに、快適で美しい景観創出と安全安心のための管理を推進している。

自然とふれあう場の提供・創出

二〇二二年からプレーヤーやその家族向けの緑地開放イベント（芝すべり／ボール遊び／ウォーキング／樹木観察／ピクニック等）を夏と秋の計二件実施しており、夏のイベント時に従業員向けウォークスルーも実施予定である。その際にゴルフ場の多様な自然環境について理解を深めるため、広報物の配布などを行うことで利用者のネイチャーポジティブに向けたスパイラルアップの参画意識を醸成する取り組みを行う。

江川 将博 ● えがわ まさひろ

一九九四年西武造園株式会社入社。以後、設計に従事し、西武グループ分譲計画、開発に伴う提供公園設計、ゆうえんちリニューアル計画や集合住宅・まちづくり計画ほか基本計画から実施設計、設計監理を行う。